

会 議 議 事 録

1 会議名	令和6年度長岡市地域密着型サービス運営部会
2 開催日時	令和6年12月23日(月曜日) 午後2時50分から午後3時15分まで
3 開催場所	アオーレ長岡東棟 4階 大会議室
4 出席者名	(部会員) 鯉江部会長 神保副部会長 井佐部会員 覚張部会員 小林部会員 船越部会員 (事務局) 介護保険課長ほか関係職員
5 欠席者名	なし
6 議題	(1) サテライト事業所の取扱について (2) その他
7 資料	別添のとおり
8 審議の内容	
発言者	議 事 内 容
介護保険課長補佐	○資料確認等について (今回に限り、議事の進行も事務局が行うことを承認もらう)
介護保険課長	○長岡市地域密着型サービス運営部会について 久しぶりの開催のため、あらためて本部会の役割を説明させていただく。 本部会は地域密着型サービス事業所を指定するにあたり、市独自基準等を検討し、市内の地域密着型サービス事業所の質の向上を目的に実施している。部会の開催は不定期で、今回のように本体会議終了後を行うほか、市内の新規参入法人による事業所の指定申請があった場合は、部会の皆様と事業所の現地確認を行うなど、指定の可否の検討させていただきたい。
介護保険課長補佐	○議題1「サテライト事業所の取扱について」、事務局から説明を行う。
介護保険課長	(資料No.1をもとに説明。)
介護保険課長補佐	ただいまの説明、資料について、質問等はあるか。
部会長	市の方向性として、サテライト事業所を増やしたいということか。

<p>介護保険課長</p>	<p>人材が不足していて事業所を開設できないという話を聞くため、人材の活用には有効な取り組みだと思ふ。市の考え方に賛成である。ただ、本体事業所に対して、サテライト事業所が2カ所で良いのかどうかは検討が必要になるのでは。</p> <p>資料に記載しているが、人材活用等に有益であれば、各事業所、法人事業所で検討いただき、サテライト化を進めることも効率化の一つの観点かと考えている。しかし、長岡市の取り扱いを何も決めずに推進すると際限が無くなる恐れがあるため、法的拘束はないが、法人や事業所から相談があった場合は、お示しした取り扱いで進めたいと考えている。</p>
<p>部会員</p>	<p>介護現場は、人材不足、賃金不足で本当に厳しい状況である。少しでも事業所の運営を効率化していくために、サテライト化を進めることは良いかと思ふ。</p> <p>サテライト事業所の2カ所については、現状に合わせた形が良いため、状況をみながら引き続き検討が必要だと思ふが、基本的な方向性は良いと思ふ。</p>
<p>介護保険課長</p>	<p>2カ所の部分については非常に悩んだところであり、新潟県は広域型の事業所を所管しているためかサテライト数の限定をしていない。しかし、地域密着型サービス事業所は市内でサービス提供しているため、2カ所が適切なのかと考える。また実際に、サテライト化を実施する事業者があった場合は、意見を聞きながらこの取り扱いが適切なのかを検証したい。</p>
<p>介護保険課長補佐</p>	<p>議題1「サテライト事業所の取扱について」、この案のとおりでよろしいでしょうか。</p> <p>(承認)</p>
<p>介護保険課長補佐</p>	<p>○議題2「その他」について、事務局から説明を行う。</p>
<p>介護保険課介護事業推進係長</p>	<p>(現在の地域密着型サービス事業所の指定状況、地域密着型サービスのPR活動報告、今後の部会開催時期等を説明)</p>
<p>介護保険課長補佐</p>	<p>ただいまの説明、資料について、質問等はあるか。</p> <p>(質問なし)</p>
<p>介護保険課長補佐</p>	<p>全体をとおして、質問、意見等はあるか。</p>

部会員	<p>特に認知症対応型通所介護が非常に厳しく稼働率が下がっている印象である。認知症対応型通所介護と一般の通所介護では金額が異なり、一般の通所介護の方が利用されている。法人内の認知症対応型通所介護事業所の稼働率が伸び悩んでいる。</p>
介護保険課長	<p>市内の認知症対応型通所介護の稼働率の伸び悩みを、市も認識している。おっしゃられたとおり、利用料金が一般の通所介護より高いことがデメリットと感じている方もいる。また、「認知症」という名称が利用者にとって抵抗があるという声も聞かれている。しかし、メリットも十分にあり、一般の通所介護にはない馴染みの職員が常にケアをしてくれるという点がある。認知症の方にとっては、非常に大事なところであると思うが、そういったサービスの強みを市から周知できていないことも、利用者の減少傾向に影響しているのかもしれない。今後も認知症対応型サービスや地域密着型サービスのPR活動を通じて、普及促進を図っていきたいと考えている。</p>
部会員	<p>私どもは、小規模多機能型居宅介護の2か所をサテライト事業所として運営しておる。管理者等の人員配置の面でも本体事業所と連携することで、地域で柔軟なサービスが展開でき、事業を継続できている部分がある。今回の定期巡回のサテライト化は、事業運営を維持継続していくためにも非常に良いと思う。</p> <p>認知症対応型通所介護は、私どももかなり苦戦している状況である。しかし、一般の通所介護と差別化もだが、何より認知症になっても地域で安心して暮らせるということ、さらに視点を変えると馴染みの関係が維持できることが強みと考えている。サービスの中身や目的が異なるかもしれないが、小規模多機能型居宅介護は、訪問・宿泊・通いの機能がある中で、職員と顔馴染みの関係を継続しつつ、単身の認知症の方が安心して通うことができ、地域で暮らし続けることを支えているサービスの一つである。認知症対応型通所介護とはまた違う形で支えるサービスの一つなのかと思っている。</p>
介護保険課長補佐	<p>不慣れな進行であったが、審議いただき感謝申しあげる。ありがとうございました。</p> <p>○閉会</p>